

電子メールを用いたデータ請求機能

(マニュアル: http://smoka.nao.ac.jp/help/help_mail_req.jsp)

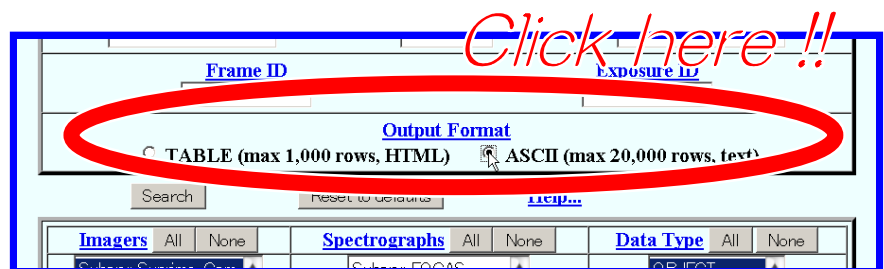
一度に大量(1000フレーム以上)のデータを請求するような場合等には、電子メールを用いたデータ請求機能が便利である。この機能は必要な情報をメール本文に記入して、定められたアドレスに送信することで請求を行うというもので、最大 10000 フレームのデータを一度に請求できるのが利点である。詳細はタイトル下部に記したマニュアルを参照のこと。なおhtmlメールでは受け付けられないので、この点には注意が必要である。

請求メールの記入例 (#で始まる行はコメント行)
e.g.)

```
# Your-ID means your SMOKA ID. Please replace it.
ID          Your-ID
#-----
# Your-purpose means your purpose to get data.
# Please select from below list.
#PURPOSE    Research(solar system)
#PURPOSE    Research(stars)
#PURPOSE    Research(galaxies)
#PURPOSE    Research(star formation)
#PURPOSE    Research(cosmology)
#PURPOSE    Research(software development)
#PURPOSE    Research(instrument development)
#PURPOSE    Research(other)
#PURPOSE    Education(teaching)
#PURPOSE    Education(extracurricular)
#PURPOSE    Education(museum/planetarium)
#PURPOSE    Education(other)
#-----
# Request frame list: This list needs FRAME_ID and DATE_OBS.
# FRAME_ID  DATE_OBS
HDSA00000017 2000-05-25
HDSA00000019 2000-05-25
SUPA00001673 1999-01-22
SUPA0026660X 2004-01-14
...
```

また、上記のようなフォーム作成を支援する機能も合わせて公開されている。
以下の2つの出力をそのままコピー/ペーストすることで、請求データのリストとすることができる。

- 1.) 検索結果をascii テキスト形式で表示させる機能
各検索機能の“Output Format”を指定する。
詳細は http://smoka.nao.ac.jp/help/help_asciitable.jsp



↑ アドバンスド検索の場合

- 2.) 観測データの全リストを提供する機能
SMOKA トップページ of “観測データの全リスト”
詳細は http://smoka.nao.ac.jp/help/help_afl.jsp

試しに今日の講習会で請求したデータをこの機能で請求してみるとよいが、SMOKA 実習中はデータ請求が混雑するため、後ほど試してみたい。